

# MACKIE DL1608

これまでもiPadでコントロール可能なコンソールはいくつか登場していたが、「DL1608」は一味違う。本体にはHAのツマミと入出力端子があるだけで、一切のコントロールをiPadで行なうのだ。ミックスのみならず、EQ、ダイナミクス、空間系エフェクトなど豊富なプラグインエフェクト、iPadを録音／再生機としても使用できる(ワイヤード使用のみ)など豊富な機能を搭載。そして、最大の特徴は、ワイヤレスルーターとの併用で、モバイル感覚で自由に操作することができる。このまったく新しいジャンルの切り開いた話題のミキサーを、阿尾茂毅氏と関靖子氏のお2人にテストをお願いし、その印象を語っていただいた。



## iPadでフロントローする 16chデジタルミキサー

**PS** 最初に「DL1608」は、どういう状況でテストしましたか。

**阿尾** 長さ30mくらいの船での、船上パーティーです。最初は「DL1608」をヴォーカルの本田みちよと渡部高士のユニット「OVERROCKET」のモニターだけに使おうと思っていたんですが、結局パーティーに呼ばれたDJのシステムの出力も繋いでメインミキサーとDJのモニターとしても使いました。ライブの本番を含めて3日しか試せなかったんですが、開けた初日マニュアルもろくに見なくてもほぼ使えるほどわかりやすかったですね。それに、コンプやEQなどエフェクターを呼び出すとき、階層が深くないので迷うことが少ないですね。しかも、メインとAUXで合わせて8ch分の31バンドのグライコが入っているでしょう。アウトボードだと最低2U、合計8Uのグライコを持って行かなきゃならないんですよ。肉体的負担も少ないし、場所も取

らないのが良いですね。

**関** EQは下の各設定のスライドバーを動かしてもいいし、f特を示したグラフィックの線を動かしてもいいし、数値でも打ち込むことができる。だから、触るだけでわかるんですね。とても使いやすかったです。

**PS** iPadは無線LAN(ワイヤレスルーターは各自用意)を使うことで、本体から取り外して使えるわけですが、いかがでしたか。

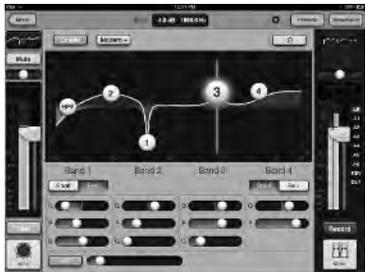
**阿尾** 100人くらいいる会場の中を動き回ったけれど、急にコントロールできなくなるようなことはまったくありませんでした。結果、昨日のパーティーでは、最初の設定をしてから「DL1608」の側にいませんでした。ほぼ客席にいて、コントロールしていたんじゃないかな。前からこういうことがやりたかったんですよ。やはり、お客さんに一番良い音を届けたいわけじゃないですか、それにステージのミュージシャン。こういう形でミックスするのが一番良いんじゃないでしょうか。

## DL1608 Specification

■入出力●マイク入力(1~12): XLRタイプ(バランス)、入力インピーダンス3kΩ、ゲイン幅0dB~60dB、最大入力レベル+21dBu、ファンタム電源●マイク入力(13~16): XLR/TRSコンボタイプ(バランス)、入力インピーダンス3kΩ/30kΩ、ゲイン幅0dB~60dB/-20dB~40dB、最大入力レベル+21dBu/+30dBu、ファンタム電源●メイン出力: XLRタイプ、最大出力レベル+21dBu、出力インピーダンス600kΩ●AUX出力: TRS フォーン、最大出力レベル+21dBu、出力インピーダンス240Ω(バランス)/120Ω(アンバランス)●ヘッドフォン出力: TRS フォーン・ステレオ■内蔵エフェクター●各入力: 4バンドEQ(パラメトリック)、コンプレッサー、リミッター、ノイズゲート、リヴァーブ、ディレイ●AUX出力、メイン出力: 31バンドEQ(グラフィック)、コンプレッサー、リミッター■サンプリング周波数: 48kHz■解像度: 24bit■寸法/重量: W291×H95×D391mm/3.1kg■別売オプション: 専用バッグ(11,000円)、ダストカバー(3,200円)、ラックマウントキット(10,000円)  
■価格: 118,000円(オープンブライズ、表示は税込市場予想価格)、iPadは別売(iPad2バンドルモデル150,000円あり)■問合せ: 音響特機(株) マッキーブランドグループTel: 03(3639) 7800



リアパネル。iPadとワイヤレスルーターは別売。iPadは第3世代まで使用可能(第4世代、iPad miniは対応準備中)



各入力にある4バンドEQ。下のスライドバーのほか「特画面、数字入力にも対応する。また、各設定を記録する「SnapShot」機能とお気に入りのエフェクターなどの設定を記録する「Presets」機能を装備

**PS** 持ち運んでいるとき、誤って手が触れて動くことはなかったですか?

**阿尾** いろんな持ち方をして、踊ったりもしたけれど、誤動作はなかったです。

**関** コントロールしたいところをタッチするとそのボタンの周りが光る(同社で「Grow&Glow」と呼ぶ状態)んです。そうしないと動かないので、大丈夫なんでしょうね。

**PS** フェーダーの画も大きくて使いやすいそうですね。

**阿尾** そうですね。ただ、レベルメーターがほんの少し遅れて動くのは気になりました。もっとも、音に関してレイテンシーがあるわけではないので、耳をきちんと使っていれば全然大丈夫です。後はフェーダーのグルーピングができないのが、ちょっと扱いにくいかな。ここはバージョンアップに期待しましょう。「音響特機」さんによると、ワイヤレスルーター上

で「DL1608」を複数台認識するので、1台をFOH、1台をモニターという使い方もできるそうです。同時操作はできないけれど、1台のiPadで切り替えながら操作できる。逆にiPadも10台まで認識するからミュージシャンが直接モニターをコントロールする事もできるそうです。とはいっても16chあれば、いろんなことができますけれどね。それがiPad2の幅とほぼ同じ大きさのコンソールで出来るんだから本当にいいですよ。

**関** 知り合いが、小さいiPadが付いているので、軽いだらうと思って持ちあげたら「あ、重い」って。アナログが好きなので、しっかりした重さがあるので安心してました。HAがしっかりしているんだねって。

**PS** 音質に関してはいかがでしたか。

**阿尾** 渡部高士が使っているサブミキサーの出力がけっこう大きいんですよ。ぼくは普段「MACKIE」の「Onyx1640i」を使っているんだけど、それだとGAINを絞りにくくても厳しくて「6dBくらい下げて」とお願いするのがいつものパターンなのに、余裕があるんです。「Onyx」と同じHAだと言っているんだけど、AD部分に余裕があるそうで、ヘッドマージンは広くなっている気がします。逆にヴォーカルの本田みちよはわりと小さな声で歌うんですが、十分にゲインを上げられるほどSNも良かった。HAに関しては、素晴らし



パーティーではモニタースピーカーの横にあった長椅子に置けるほど、コンパクトなサイズ

いですね。

音質に関してはストレートで素直です。「Onyx1640i」は中域がピッと張りだした、いわゆるアメリカンな音がしているんですが、デジタルコンソールということもあるんだと思うけど、今までの「MACKIE」の音とはまったく違いますね。渡部高士はライブのトラックとTR909を同期させて動かしているんだけど、TR909のドラムのキックがちゃんと出るんです。ただ、音質に関しては、聴く人によっては面白くないと思いますよ。そのまんまなのでね。自宅のテストでは、いくつか他のマイクも試したんですが、マイクのキャラクターがとても良く出ていました。それほどストレートな音です。

**関** EQも掛り具合がいいし、Qも使えるので結構幅の設定も細かくやりながら音作りできました。気に入らなかつたらそのポイントを2回タップすると元に戻るのも良かったです。

**阿尾** レベルフェーダーにも、その機能があつたらもっと良かったんだけどね。後、ファンタムが全チャンネルのオン/オフであるところかな。逆に言うと気になったのは、それくらいじゃないかな。

**関** 使いやすくて音の良いコンパクトミキサーを探している方が結構いるんです。フェーダーのグルーピングなど改善の余地はあるにしても、かなり使えるミキサーだと思いました。

**PS** 本国のWebサイトには、そういうユーザーからの要望を受け付ける項目があるそうなので、どんどん改善されていく可能性はありますね。

**阿尾** 使ってみて思ったのは、小さいけれどプロ機ですよ。まさかこんなに使えるミキサーだとは思いませんでした。近いうちに買いたいと思います。

**PS** ありがとうございます。



会場内でコントロールする阿尾茂毅氏

# PROSOUND

Multi-channel Sound System & Design

NHK ロンドンオリンピック

スーパーハイビジョン22.2chでパブリックビューイング

2012

12

PROSOUND LAB

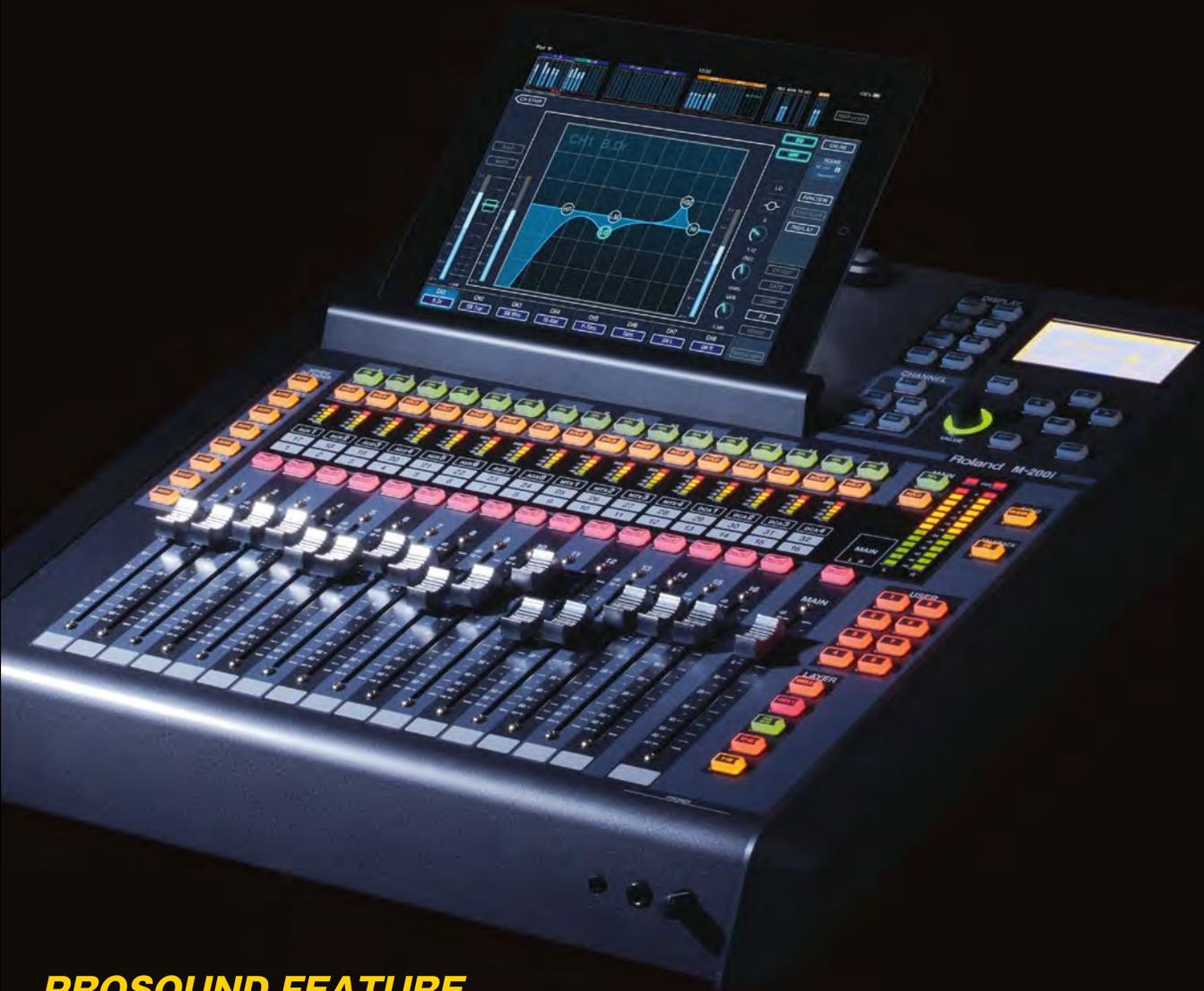
face to face vol.3 開催!

PROSOUND特別企画

ゼビオアリーナの音響システム

特別企画

オーディオテクニカ50周年



PROSOUND FEATURE

## ローランド V-Mixer M-200i

iPad採用の新世代ミキシング・コンソール、その開発ストーリー